

# やまぶき

大森小学校  
No.326  
R4.11.17  
文責 校長 出川政司



## 非認知能力も大切に

「非認知能力」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。難しい言葉のように感じますがとても大切なものだと考えています。

読み、書き、計算や特定の正解を引き出すための知識など、客観的な数値によって測定できる能力を「認知能力」と言います。それに対し、自制心や意欲、共感性など一人ひとりの内面や特性を総称した能力が「非認知能力」です。時代が大きく変化し、先を見通すことが困難な時代です。VUCAの時代とも言われます。未だに終息を見せない新型コロナウイルスの感染が良い例です。予想だにしないこのウイルスによって世界が一変してしまいました。これまでの常識や手だてでは対処しきれなかったことは承知の通りです。しかも、そのことによって様々な身の回りの変化が起きています。学校現場でも、行事の中止や見直し、一人一台端末などの学習方法の変化、黙食などの生活様式の変化など、予測できなかった変化が取り巻いています。

しかし、改定された学習指導要領では「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」に加えて、非認知能力と言え「学びに向かう力・人間力」の涵養が重要な柱の一つに挙げられています。そんな中、岡山大学の中山芳一氏は次のように非認知能力を整理しています。一つめは忍耐力や自制心、回復力（自分と向き合う力）、二つめは意欲や自信、楽観性（自分を高める力）、三つめはコミュニケーション力や共感性、社交性（他者とつながる力）です。これら三つの能力は状況に応じて、プラスにもマイナスにも作用してしまいます。例えば、良く言う「自信があります」も、自信に満ちあふれていると捉えられる場合と根拠のない自信と捉えられる場合が起きてしまいます。つまり、非認知能力を高めるだけではない、様々な状況に応じて自分の非認知能力を使いこなしたり組み合わせたり補い合わせたりできるかが重要だと思っています。

そんな非認知能力は読み、書きなどのように周囲から働きかけによって育つものではなく、一人ひとりが経験と学びを通してみずから育んでいくものだと思っています。子どもたちが自分に必要な非認知能力を意識して育もうとすることが大切だと思っています。昨年度から子どもたちが話している、「できない、ではなく...」「失敗した、ではなく...」「できた、ではなく...」の三つのことは非認知能力の育成につながると思っています。自分の必要例えば、「そういえば自分はすぐに無理って言うなあ。」とふり返ることで「よし、やってみよう」と何とかやろうとする意欲を育むことができるのではないかと思います。

学校での教育活動のみならず、学習活動を支えてくださり様々な経験を積むことができる大森の町が協働して下さるからこそ子どもたちが「非認知能力」を育むことができることに日々感謝しています。子どもたちがみずから意識できるように「きっかけ」をどんどん提供していきたいと思っています。

## 創立150周年記念式典について

十一月十九日（土）の大森っ子発表会に併せて記念式典を行います。左記のように行いますので大森町民のみならずにもご参加いただけると喜びます。

時間・内容 八時四十五分～大森っ子発表会  
十一時二十分～式典及び記念植樹

場所 大森小学校体育館

その他 感染症予防にご協力ください。  
当日来られましたら受付をお願いします。

## ～11月12月の主な行事～

- 11月19日 大森っ子発表会  
150周年記念式典
- 21日 振替休業日
- 24日 委員会活動
- 29日 ミニ愛護団活動  
中学年集合学習
- 30日 朝読書 ALT  
学力向上タイム
- 12月1日 委員会活動
- 6日 県学力調査  
(5,6年生)  
中学校体験交流会  
(6年生)
- 7日 朝読書 ALT  
学力向上タイム
- 8日 書き初め指導
- 11日 とびっきり寄席参加  
(希望者)
- 12日 児童総会
- 13日 ミニ愛護団活動  
SC
- 14日 朝読書 ALT  
学力向上タイム
- 20日 個人懇談
- 21日 個人懇談  
朝読書
- 23日 大掃除 給食最終  
終業式

## 修学旅行

高山小学校と連合で五、六年生が一泊二日の日程で修学旅行に行きました。私たちが住む島根県について学びを深めるために松江方面に行くことにしました。初日、県庁では特別に議場フロアにも入らせてもらいました。県警本部や松江城、堀川遊覧船それぞれの見学先でたくさん学びました。二日目は平和学習として安来市加納美術館に行き加納莞菴の功績について学び平和について考えました。その後、松江フォーゲルパーク、一畑電車乗車体験、神門通り散策などたくさんの学びと思い出を胸に帰途につきました。



## ～秋の日のホンワカ～

秋が深まり、校門横のイチョウの木が黄色く染まりました。落ち葉も一面で黄色い絨毯のようでした。そんな中、昼休みに落ち葉を集める子どもの姿がありました。もちろん、誰かに言われたわけではありません。他の子が遊ぶ中、その姿を見て手伝う姿も。寒さに向かう中、心温まる出来事でした。



## 大きなおいもがとれました

保育園の子も私たちといっしょに大きくなりました。春には保育園と交流をしようとしていたおいもがとれました。大きなおいもも笑顔があふれました。小学生も園児も笑顔があふれました。



## ご芳志・ご協力ありがとうございました

- 遺跡愛護少年団活動
- 落花生
- 総合的な学習出前授業
- 落語出前授業
- 白銀会のみな様
- 地域の方より
- 熊谷家様
- サンレディ
- 市内落語家のみな様